5-357

電子辞書の実体調査（1）

中学・高校 / 英語 / その他 / その他 / XD-B4700

アンケートの項目例とその趣旨

電子辞書の指導前に行うこと

電子辞書の使い方を教室で指導する前に，しておいた方がいいことがあります。それは，電子辞書に関する生徒の実態調査です。「どのくらいの生徒が電子辞書を使っているのか」「どのような目的で使っているのか」「便利な機能は使えているのか」など，生徒の実態が異なれば，指導する時の生徒への言葉かけや，どれだけ細かなステップで指導するかが異なるからです。

実体調査のアンケートで問うこと

実態調査はアンケート形式で実施すると，10分程度で終了します。この10分をとることで，普段私たち教職員にはなかなか見えなかった生徒の実像が見えてきます。機器の活用に関して忘れてはいけないのは，教職員よりも対応力が高い生徒が多いということです。彼らは自己流で様々な機能にトライしています。同時に、彼らは自分が知らない機能を十分に使いこなせていない場合も多いのです。

以下に、電子辞書に関する全体像を把握するために問うて見たい項目を示してみます。

（1）自分用の「電子辞書」を持っていますか。
（2）その電子辞書のメーカー名は？
（3）取扱説明書は読みましたか。
（4）電子辞書と紙の辞書のどちらをよく使っていますか。
（5）あなたは電子辞書をどう使っていますか。使い方や用途を詳しく教えてください。
（6）それぞれの利点と欠点はどんなものだと思いますか。それぞれ2つ以上書いてください。
（7）電子辞書に「あったらいいな」と思うのはどんな機能ですか。（要望）
　（例）教科書の本文や音声が電子辞書に入れることができれば，どこでも英語の学習ができる。
（8）電子辞書の機能で，「使い方がよく分からない」機能があれば書いてください。

アンケート項目の趣旨

以上のアンケート項目の意図を考えてみます。質問の趣旨を理解すると，結果をさらに有効利用できると考えるからです。
各設問の「質問趣旨」をご覧ください。

(1)	自分用の「電子辞書」を持っていますか。
	【意図】「多くの生徒が」ではなく，どのくらいの生徒が電子辞書を使っているか「実数」を知る。これが，全ての指導の始まり。
(2)	その電子辞書のメーカー名は？
	【意図】メーカーが異なると，搭載している辞書やボタン名が異なるので、指導するときに配慮ができる。
(3)	取扱説明書は読みましたか。
	【意図】電子辞書の機能は、直感的に使えるものから，教えてもらって初めて使える機能まで様々ある。取扱説明書を読むとそれらを学べるが，読んでいない場合は，便利な機能（「ジャンプ」や「複数辞書検索」「ワイルドカードサーチ」など）を使いこなせていない可能性がある。
(4)	電子辞書と紙の辞書のどちらをよく使っていますか。
	【意図】生徒の実体をとらえる質問。使っている生徒が多ければ，その効果的な活用法や留意点について指導する必要がある。
(5)	あなたは電子辞書をどう使っていますか。使い方や用途を詳しく教えてください。
	【意図】生徒が，「どんな場面で」「どんな用途で」電子辞書を使っているのか分かると，生徒心理と実態を把握でき，効果的な指導を考えることにつながる。調べもの以外にも使っている生徒が多いことに驚く。
(6)	電子辞書と紙辞書それぞれの，「利点」と「欠点」はどんなものだと思いますか。それぞれ2つ以上書いてください。
	【意図】生徒が各辞書のメリット・デメリットをどうとらえているか分かる質問。生徒たちの考えが把握できる
(7)	電子辞書に「あったらいいな」と思うのはどんな機能ですか。（要望） （例）教科書の本文や音声が電子辞書に入れることができれば，どこでも英語の学習ができる。
	【意図】生徒目線で，電子辞書の進化を考える問い。彼らが，どんなことを電子辞書に願っているのかを把握できる。
(8)	電子辞書の機能で，「使い方がよく分からない」機能があれば書いてください。
	【意図】指導するときに，参考になる問い。しかし，そもそも「分からないことが分からない」という場合もあるので，参考程度にする。

「電子辞書の実体調査（2）」で、アンケートの実際をお示しいたします。